

令和3年度(2021年度)公共事業再評価調査

調書番号		所管部	農政部	作成責任者	農政部農村振興局農地整備課長 磯嶋 光世		
I 基本事項(基準日時点)		事業種別	地区名	市町村名	大空町		
事業種別		道国土改良事業費(水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備中山間地域型))		地区名	あまんべつなんぶ 女満別南部	市町村名	
事業費		2,843 百万円	負担割合	国 55.0%	道 28.0%	市町村 5.1%	その他 11.9%
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> ●本事業により農業用排水(畑地かんがい、排水路)、農道、客土、暗渠排水、区画整理、農地保全の整備を総合的に行うことにより、畑作物の生産振興及び畑作経営の安定化を図る。 ●地域農業をささえる担い手農家の経営体質を改善し、安定した農業経営の確立を目指す。 ●本事業の実施により「安全・安心な食の生産を支える」優良農地の確保を図る。 		本地区は、農耕期間の干天・少雨のため、播種、発芽、生育時の生育障害を解消するため、畑地かんがいを行う。また、排水性の悪いほ場については、農地の余剰水の早期排除のため排水路、暗渠排水を整備するとともに、土性を改善する客土を行うほか、大型農業機械の効率的な稼働に対応するほ場の勾配を修正するための区画整理や農作業や農産物の集出荷の支障となっている農道の整備、ほ場からの土砂の流出を未然に防止する農地保全を総合的に実施する。		受益面積 A=1,146ha→A=1,466ha (百万円) (百万円) 受益戸数 84戸→112戸 前回評価 今回評価 ○畑地かんがい A=325ha→A=981ha 109 481 ○排水路 L=709m→L=829m 30 42 ○農道 L=2,386m→L=2,336m 238 566 ○客土 A=72ha→A=19ha 171 90 ○区画整理 A=220ha→A=474ha 655 1,173 ○暗渠排水 A=614ha→A=219ha 543 62 ○除穢 A=6ha→A=0ha 16 0 ○農地保全 A=26ha→A=5ha 18 11 ○測量設計費 調査・設計 295 267 ○用地買収補償費 用地買収・物件補償 85 151 計 2,160 2,843	
事業目的・目標		【アウトカム】 ●事業実施前(H24年(2012年))の担い手農地利用集積率(受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合)は99.3%であり、本事業を実施することにより事業完了翌年には99.3%と維持されることが見込まれる。		総合計画：大項目 経済・産業 総合計画：中項目 農林水産業の持続的な成長 総合計画：小項目 潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり		関連する指標 食料自給率(カロリーベース) 令和7年度(2025年度) 目標値：258%	
総合計画での位置付け		施策名 農業農村整備の推進 施策目標 地域の個性や創造力を活かした農業・農村の持続的発展に向けて「いのちの源「食」の生産をささえる」「多様な担い手と地域をささえる」「豊かな農村環境をささえる」の3つを整備の基本方針とし、地域の実情に即した生産基盤等の計画的な整備を進める。		総合計画：大項目 経済・産業 総合計画：中項目 農林水産業の持続的な成長 総合計画：小項目 潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり		関連する指標 食料自給率(カロリーベース) 令和7年度(2025年度) 目標値：258%	
II 公共事業評価経過		事業採択 着手 評価年度 完了予定 事前評価 又は当初 H25(2013) H25(2013) H33(2021) 前回評価 今回評価 H25(2013) H25(2013) R3(2021) R5(2023)		事業費 総事業費(a) 2,160 道負担額 605 当該年度事業費 215 累計事業費(b) 1,925 進捗率(b)/a 68%		経過年数 8	
変更理由・内容		(1)畑地かんがいについて、高温少雨に起因する整備要望の取り込みによる事業量、事業費の増。(2)排水路について、現地測量精査による事業量、事業費の増。(3)農道について、詳細設計精査による事業費の増。(4)区画整理について、暗渠排水等からの移行や整備要望の取込による事業量、事業費の増。(5)暗渠排水、客土について、区画整理への移行や整備要望の取り込みによる事業量、事業費の増。(6)除穢、農地保全について、整備要望の取り込みによる事業量、事業費の減。(7)自然増、消費税(8%→10%)の改正による事業費の増。(8)事業費の増額や畑地かんがいの整備要望取り込みに伴う事業期間の変更。					
III 事業採択前の状況		1. 事業採択に至る経過と背景 本地区は、排水不良土壌が分布しており、近年、集中豪雨が増える中、湿害による減収被害が発生している。また、傾斜や褶曲のあるほ場では機械作業効率の向上を阻害している。さらには、ビートや馬鈴薯など畑作物の安定生産に欠かせない畑地かんがい用水の末端施設が一部の農地で未整備であり、畑地かんがいの効果が発現されていない状況である。こうした課題を解消するため、区画整理や暗きょ排水、畑地かんがい等の総合的な整備について、大空町から事業採択に向けた要望が出されている。					
2. 事業検討の経緯(住民への把握等)		<ul style="list-style-type: none"> ● H23年(2011年) 2月 農業者に事業制度を説明 ● H23年(2011年) 6月 地域の整備要望を踏まえオホーツク総合振興局が調査を開始 ● H24年(2012年) 3月 土地改良法に基づく事業申請 ● H25年(2013年) 4月 事業採択 					
3. 事業効果を及ぼす地域・対象		<ul style="list-style-type: none"> ● 大空町 受益面積 1,146ha、受益戸数 84戸 					
4. 関連する事業		事業名 事業主体 事業期間 事業費(百万円) 事業内容 国営かんがい排水事業女満別地区 国 S47(1972年)→H10(1998年) 17,503 畑地かんがい3,156ha					
IV 事業の実施状況		(1) 事業実績及び今後の計画 (進捗状況は令和4年度末時点の見込み) 施工(工種)区分 工事内容 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 進捗状況 事業費(百万円) 畑地かんがい A=981ha 54% 481 排水路 L=829m 100% 42 農道 L=2,336m 100% 566 客土 A=19ha 100% 90 区画整理 A=474ha 100% 1,173 暗渠排水 A=219ha 100% 62 農地保全 A=5ha 100% 11 測量設計費 調査・設計 100% 267 用地買収補償費 用地買収・物件補償 100% 151 (2) 進捗状況 排水路、客土、農地保全是事業完了済み。農道、区画整理、暗渠も予定どおり進捗しており、また、畑地かんがいについても、備品購入が主体であり、今後の実施に当たっては特に大きな支障となるものはない。 a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。					
1. 進捗状況		(1) 事業実績及び今後の計画 (進捗状況は令和4年度末時点の見込み) 施工(工種)区分 工事内容 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 進捗状況 事業費(百万円) 畑地かんがい A=981ha 54% 481 排水路 L=829m 100% 42 農道 L=2,336m 100% 566 客土 A=19ha 100% 90 区画整理 A=474ha 100% 1,173 暗渠排水 A=219ha 100% 62 農地保全 A=5ha 100% 11 測量設計費 調査・設計 100% 267 用地買収補償費 用地買収・物件補償 100% 151 (2) 進捗状況 排水路、客土、農地保全是事業完了済み。農道、区画整理、暗渠も予定どおり進捗しており、また、畑地かんがいについても、備品購入が主体であり、今後の実施に当たっては特に大きな支障となるものはない。 a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。					
2. 事業効果		経済効果の内訳(百万円) 費用の内訳(百万円) B/C 備考 項目 R3現在 項目 R3現在 R3現在 作物生産効果 6,616 農業用排水施設 930 品質向上効果 252 農道 863 営農経費削減効果 16,447 区画整理 1,618 維持管理費削減効果 Δ 201 客土 117 営農に係る走行経費削減効果 1,018 暗渠排水 127 一般交通等経費削減効果 183 除穢 0 災害防止効果(農業) 853 農地保全 18 地域用水効果 24 関連施設 13,261 国産農産物安定供給効果 882 合計(B) 26,073 合計(C) 16,933 1.53 前回算定年度：平成24年度(2012年度)【事前評価】 前回算定時B/C：1.87 変更理由： ・事業費の増額に伴う費用の増加 ・算定年度変更による諸係数・単価の入れ替えに伴う精査 ・国産農産物安定供給効果の計上に伴う便益の増 ・営農経費削減効果の人員費・機械経費に係る単価の入れ替えに伴う便益の増 ・畑かんの事業量の増による関連施設費用の増加 ・「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」(農林水産省H30改正)に基づき算出 ・経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR3年度に現在価値化している。 ・費用の合計は現在価値化しているため事業費と異なる。 ・農業用排水施設と接続する既設用排水施設等と接続する施設等を「関連施設」として計上している。 ・維持管理費削減効果は、現施設の維持管理費に対して、再整備した場合の維持管理費の増減及び事業を実施せず現施設がなくなった場合の維持管理費の増減の合計により、マイナスとなる。					

3. コスト削減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)							
	施工の最適化	農道工事における再生アスファルト合材の使用	10							
	施工の最適化	農道工事の盛土に近傍工事で発生した残土を流用	44							
V 評価										
1. 必要性	<p>●排水不良土壌に起因する湿害や、畑地かんがい用水施設の未整備により、ビートや馬鈴薯等の畑作物の安定生産に支障を来している。また、ほ場の傾斜や褶曲、幅員の狭い農道により、大型農業機械の効率的な作業や農産物の円滑な輸送に支障を期待している。このため、農業用排水、農道、区画整理等の整備を一体的に行い、農作物の生産性の向上、農業経営の安定化を目指す。</p> <p>●事業の必要性に変化は無く、着実に事業の推進を図る必要がある。</p>									
	a	<p>a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。</p> <p>c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>								
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題									
	<p>●工事に伴う周辺水域への土砂流出を抑える。</p> <p>●周辺環境に配慮し、機械施工の際は騒音・振動の発生を極力抑える。</p> <p>※直近の評価以降の状況変化はない。</p>									
	(2) 事業推進に対する住民の動向									
3. 事業達成の見込み	<p>●オホーツク圏活性化期成会から事業の計画的な推進に向けて毎年度要望が出されている。</p>									
	(3) その他の課題									
	●特になし									
4. 対処方針	事業実施に当たり事業進捗に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していき見込みである。									
	a	<p>a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</p> <p>b：課題はあるものの達成は可能である。</p> <p>c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>								
4. 対処方針	農地・農業施設の整備水準の向上に大きく寄与し、地域農業の維持に大きく貢献するとともに国民への食料の安定供給に資することから事業を継続する。									
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止								
<table border="1"> <tr> <td>事業期間変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業費変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>目的・規模等に係る変更 無</td> <td>左記以外の変更 有</td> </tr> </table>				事業期間変更の有無	有	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 有
事業期間変更の有無	有	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 有				
VI 備考										
1. 評価履歴	事前評価：平成24年度(2012年度)評価 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C：1.87 再評価：該当なし									
2. その他の取組事項										

補足資料

VII 事業計画変更												
事業年度	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
								事前評価又は当初	H26(2013)	H26(2013)	H34(2022)	2,160
変更①		H25(2013)	H25(2013)	H33(2021)	2,120	594						
変更②			H26(2014)	H33(2021)	2,120	594	110	180	8%			
変更③			H27(2015)	H33(2021)	2,252	630	454	634	28%			
変更④			H29(2017)	H33(2021)	2,124	595	23	827	39%			
変更⑤			R2(2020)	R4(2022)	2,610	731	383	1,710	66%			
変更⑥			R3(2021)	R5(2023)	2,843	796	215	1,925	68%			
<p>変更理由・内容</p> <p>変更①(採択時)：事業量及び事業費の変更 ・畑地かんがいについて、既存施設の老朽化が判明したため、新たに更新整備を行うことによる事業量、事業費の増 ・除塵について、整備要望の取りやめによる事業量、事業費の減</p> <p>変更②(第1回計画変更)：事業量及び事業費の変更 ・区画整理について、暗渠排水及び客土から移行したことによる事業量、事業費の増 ・暗渠排水及び客土について、区画整理へ移行したことによる事業量、事業費の減</p> <p>変更③(第2回計画変更)：事業量及び事業費の変更 ・自然増による事業費の増 ・区画整理について、暗渠排水から移行したことによる事業量、事業費の増 ・暗渠排水について、区画整理へ移行したことによる事業量、事業費の減</p> <p>変更④(第3回計画変更)：事業量及び事業費の変更 ・自然増による事業費の増 ・暗渠排水及び農地保全について、整備要望取りやめによる事業量、事業費の減 ・区画整理について、新たな整備要望の取り込みによる事業量、事業費の増</p> <p>変更⑤(第5回計画変更)：事業量及び事業費の変更 ・自然増及び消費税率(8%→10%)の改正による事業費の増 ・排水路について、流入区間(上流側)の洗掘対策を行うことによる事業量、事業費の増 ・農道について、設計精査の結果、盛土量の増加や側溝を既設利用から新材となったことによる事業費の増 ・客土について、土取場やほ場内の重搬方法の変更による事業費の増 ・暗渠排水及び農地保全について、整備要望取りやめによる事業量・事業費の減 ・用地買収補償費について、農道工事に伴う水道施設が必要となったことによる事業費の増 ・事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の変更</p> <p>変更⑥(第6回計画変更)：事業量及び事業費の変更 ・自然増による事業費の増 ・畑地かんがいについて、本年の高温少雨に起因する整備要望の取り込みによる事業量、事業費の増 ・畑地かんがいの整備要望取り込みに伴う事業期間の変更</p>												

事業概要図

事業名	水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備中山間地域型）	地区名	女満別南部地区
-----	-----------------------------	-----	---------

事業地区位置図

